

平成31年度使用教科書の採択結果及び採択理由一覧

学校名：大阪教育大学附属池田小学校

平成31年4月1日現在

科目	発行者の略称	採 択 理 由
国 語	光村	<ul style="list-style-type: none"> ・物語教材や説明文教材においては、従来の作品に加え、新しく入った教材が魅力的なものが多い。 ・教科書の後ろには大切な言葉や各学年の児童に使わせたい言葉を数多く掲載し、豊かな日本語を児童が使いこなせるよう工夫がある。 ・指導の手引きや関連図書が載っており、学習内容が明確化されるとともに身につけた力の活用も意識できる。
書 写	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内や町の中にある毛筆や硬筆の作品や筆・和紙の作り方を紹介するページなどがあり、児童の興味を引く工夫がある。 ・毛筆・硬筆の姿勢や用具の使い方など分かりやすく書かれている。特に、DVDでは半紙に書く文字の大きさや筆の進め方など細かいところまで詳しく学べるようになっており、使いやすい。
社 会	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の説明のバランスが良く、おさえるべきことは説明し、ある程度の疑問は残す形なので、児童が調べてみたいという意欲がわき、実際の授業に活用しやすい。 ・資料に関しても、絵や図などしっかりとしたもの採用されている。
地 図	帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県から世界まで、幅広く掲載されているので、中学年から高学年の学習に活用できる。 ・色の工夫があることや記号をたくさん取り入れられているので、地図のきまりが非常にわかりやすい。 ・地域ごとのイラストや統計資料があるので、各地域の特色が理解しやすい。
算 数	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学年以降には「これから学んでいくことのめあて」がしっかりと明示されており、共有しやすい。 ・適用問題が多岐に渡り充実している。 ・「学びをいかそう」が、思考を深め応用的に扱うのに適している。
理 科	大日本	<ul style="list-style-type: none"> ・ページの割付に工夫があり、問い・実験や観察の方法と、その結果・考察の部分がわかりやすい。 ・実生活との関わりを考えさせるものとして資料として挿入されている情報が豊富かつ的確である。 ・別冊のワークブックなど指導に不要なものが付いておらず、そのことによってかえって使いやすい構成となっている。
生 活	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を振り返り、気づきを多様な方法で表現できるような構成となっている ・学習活動單元ごとの学習のねらいを、單元ごとにページの色が統一されたり、アイコンをつけたりされていることで、学習のねらいがわかりやすい。 ・伝え方、聞き方、学び方の基本を示しているとともに、他教科との関連を意識した表現活動例や製作活動例が多い。

音 楽	教出	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽づくりをする上で、具体的な手立てや方法がわかりやすく示されている。 ・ページ上にリズムや音色等の共通事項が示されており、児童の理解を促すとともに、指導にも活かすことができる。 ・合奏曲がたくさん収録されている。
図画工作	日文	<ul style="list-style-type: none"> ・「教師用指導書」に授業展開について教師の役割・指導のポイント・評価のポイントが詳細に書かれているので、担任が図画工作を教える際にも授業を具体的にイメージできる。 ・場の設定と事前準備や題材の評価について詳しく書かれているため事前準備や、評価活動において参考となる。 ・授業展開の例と実践の記録が詳しく紹介されているので学校の実態に引き寄せて実践イメージを練ることができる。
家 庭	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・裏表紙に野菜の切り方が載っていていつでも確認することができることと、4領域のどの部分を学習しているのかがわかりやすい。 ・安全に気をつけるべきところがすぐわかる。
保 健	学研	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら探求する学習を重視し、学習したことが生活面・行動面に生かせる内容・構成になっている。 ・今日的な健康問題に取り組む内容が厳選されており、基礎・基本の習得と、活用する力が育成できるように編集されている。
道徳	廣あかつき	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容に沿った使いやすい道徳ノートが付属している。 ・教科書に載っている話の順番がよく考えられており、掲載順に行っていくことで児童の道徳性が養われるような構成になっている。